

2005 NEW YEAR MESSAGE

氏名 伴流 高志

いきいきとした高齢者文化の創造に向けて

今年の課題と抱負

「初心に立ち戻り、更なる飛躍に向けた基礎固めをする」

2005年でバリアフリー旅行センターは、10周年を迎えます。

入社して8年目を迎える私にとって、創設以来、バリアフリー旅行センターが現在まで存在し続けたことと、これから先も発展し続けることがまさに“いきいきとした高齢者文化の創造”に寄与していると実感しています。

入社した1997年当時は未だ、“バリアフリー旅行”という言葉は一般的に知られておらず、社内でも仕入れや手配で肩身の狭い思いをしたことや、添乗中も理解のない関係機関等から嫌な顔をされたりと、バリアフリー旅行を造成することの困難さを様々味わってきました。しかし、これらの思いは私たち以上に、当事者である身障のある人々にとっては、もっと、つらく悲しい歴史であったと思います。私たちはまず、この“いきいきとした高齢者文化の創造に向けて”様々な取組みを行なうにあたって、それらの根本となる社会福祉の歴史と高齢者・身障者を取り巻く生活環境やそれらの移り変わりによる心理面での理解を一人一人が十分に学ばなければならず、その努力と工夫が、本物の“バリアフリー旅行”を創造することが出来ると信じています。

そして、もうひとつ大切なことは、“私たちはそれぞれクラブツーリズム株式会社の1アソシエイツである”ことの強い認識を持つことであると考えます。クラブツーリズムは、昔から仕入れを中心とした業務体制や姿勢等に独特な取組みをしており、バリアフリー旅行センターが円滑に業務を遂行するにあたり、全社内人脈とそれによる情報収集能力がとても重要であると考えます。また、1年目のFSから“予算達成への執着”と“更なる業務効率の改善”を意識させる量販商品取扱い箇所での厳しい指導体制は、特に参考にしなければならない重要課題であると考えます。ひとつの事業を継続・発展させ、新しいことにチャレンジしていくために、量販商品取扱い箇所以上に、私たちも一人一人が収益に今まで以上にこだわる姿勢を持たなければならないのです。

入社して今年で8年目を迎えますが、いままで仕事を通じて多くの出会いと別れ(死)を経験してきました。鎌田實先生の著書「がんばらない」の中で、鎌田先生自身が、多くの方との“出会い”と“別れ(死)”の中で様々なことを学び、それをまた社会活動に反映させるその姿勢は、とても参考になりその循環こそが、“いきいきとした高齢者文化の創造”であると感じることができ、旅を通して夢や希望を抱くことを期待しているお客様が、旅先で“がんばらない(安心して快適に思い出に残る旅ができる)”為にも提供する側が、今まで以上に“がんばらないといけない”ことをあたためて考えさせられました。

10周年という節目の年である2005年は、以下の“クオリティ・ファースト10ヶ条”の初心に戻り、バリアフリー旅行センターに所属する一人一人のスタッフが、バリアフリー旅行センターのクラブツーリズム内・外での存在価値や意義を十分に理解し、積極的に仕事に取り組むことができるように、サポートしていきたくと考えます。そして日本中・世界中の身障者・高齢者が自分の意思で“いつでも、どこでも”旅が出来るバラエティに富んだ主催旅行商品の創造の実現に向けて一歩ずつ前進していけたらと思います。

クオリティ・ファースト10ヶ条 (バリアフリー旅行センター)

1. 私たちは、誰もが平等に旅を楽しめる環境創りを目指します
2. 私たちは、情報ネットワーク発信の中心になり様々なニーズに応えます
3. 私たちは、旅のプロとしてだけでなく福祉の知識も学びます
4. 私たちは、常に広い視野を持ちお客様の目線で旅のご相談に応えます
5. 私たちは、お客様一人ひとりの個性を尊重します
6. 私たちは、お客様の「したい!」を「できる!」にします
7. 私たちは、旅を交流の場としてとらえ新たな出会いを大切にします
8. 私たちは、お客様のチャレンジを応援します
9. 私たちは、お客様のどんなに小さな声でも優しさで勇気を持って対応します
10. 私たちは、お客様から学ぶ姿勢も大切にします

●上記10ヶ条は、1997年入社したときに、これからバリアフリー旅行に取り組むにあたって考えた信条・姿勢です

(1) あ・える倶楽部の旅にお申込みされる前に必ずお読み下さい。

行程中のバス交通機関について(リフト付きバスの使用)

観光する地域、又はその周辺(バス会社営業圏内)において、リフト付き観光バスを所有するバス会社等がある場合は、出来る限り使用しますが、それ以外の地域については、リフト付バスを使用しない場合もございます。その場合は、現地バスケットや全体サポーター、添乗員(TC)等がリフト乗降のお手伝いをいたします。詳細は、各コース毎にご案内している内容にてご確認ください。

ホテルについて

旅行代金について

表示のご旅行代金は、特に記載のない限りエコノミークラス席利用で、2人部屋を2名又は3名様でご利用いただく場合の1名料金です。(国内旅行に関しては、観光地の入場料及び運輸機関の運賃などは身障者割引適用後の料金にて算出しておりますので、大変お手数ですが、ご旅行当日に身障者手帳又は療育手帳等のコピーをご持参下さい)

お申し込みについて

国内旅行は出発の20日前、海外旅行は35日前までにお申込みください

皆様方の声を聞かせてください!

あ・える倶楽部では、国内・海外を問わずお客様の要望にご要望に添った旅とサービスを創造していきたいと考えています。ご要望がございましたら、電話(03-6415-6480)・FAX(03-6415-6488)・Eメール(tabi@aelclub.com)で受け付けています。

催行決定のご案内について

国内旅行は、出発日から起算して14日前(日帰りは4日前)、海外旅行は24日前(ピーク時は34日前)までに決定して、お申し込みの皆さままでご連絡をいたします。(ツアーキャンセル、催行決定の旨を電話又は郵便にてお伝えします)

行程表の見方

○表内の「時間」はおおむね次の時刻を示します。航空機やバス等の移動発着時刻の目安としてご参照ください。
早朝：4~6時、朝：6~8時、午前：8~12時、昼：11~13時、午後：12~16時、夕刻：16~18時、夜：18~23時、深夜：23~4時
○スケジュールは、現地休祝日や航空事情により変更になる場合があります。

航空保険特別金について

国内・海外旅行ともに航空機を利用するツアーでは、旅行代金に航空保険特別料金が含まれています。

海外旅行にお申し込みされる方へ

- ① 成田空港施設使用料(大人2,040円)・海外航空税(現地払いになる場合があります)・航空保険料・燃油サーチャージ(特別付加運賃・料金)が別途必要になります。詳細は、ご旅行代金請求書にてご確認ください。尚、燃油サーチャージ又は空港諸税が新設・増額された場合、徴収額が変更になる場合がございます。(為替レートによる過不足の精算は行いません)
- ② 渡航先の国や地域によっては、外務省より海外危険情報が出されている場合もあります。詳しくは、「外務省海外安全ホームページ」(www.pubanzen.mofa.go.jp)にてご確認ください。
- ③ 渡航先で衛生状況については、厚生労働省「海外渡航者のための感染症情報」(www.forth.go.jp)をご覧ください。

航空会社略語一覧(成田空港発着)

AA/アメリカン航空、AC/エア・カナダ、AF/エールフランス、AZ/アリタリア航空、BA/英国航空、CA/中国国際航空、CO/コロンビア航空、CZ/中国南方航空、DL/デルタ航空、EK/エミレーツ航空、FJ/エア・フィジー、JL/日本航空、KL/KLMオランダ航空、LH/ルフトハンザ・ドイツ航空、LX/スイス・エアラインズ、MU/中国東方航空、NH/全日空、NW/ノーアウエスト航空、OM/モスコル航空、OS/オーストリア航空、SK/スカンジナビア航空、SU/エアフロート航空、TK/トルコ航空、UA/ユナイテッド航空

●お申込みされる前には、弊社指定の国内・海外旅行条件書及び、旅行業約款も必ずご確認ください

お問い合わせ

TEL 03(6415)6480 受付時間/月~土 09:30-18:30(日・祝日は休日)